

10月は職業奉仕月間・米山月間です

THE WEEKLY REPORT

R I 第 2820 地区

水海道ロータリークラブ

2009-2010年度 テーマ

増やそう 新しい仲間たち！
開こう 未来への扉を！



2009-2010 年度 R I 会長
ジョン・ケニー

次回例会予定 10月28日外部卓話常総公共職業安定所
11月4日 会員卓話 北村 仁会員

VOL. 47 No. 14 (通算No. 2216)

2009年10月21日(水)例会プログラム

点 鐘

ロータリーソング

ビジター紹介

出席報告

SAA報告

諸 報 告

幹事報告

会長挨拶

会員卓話

上野 博会員



坂野家住宅・表門

写真提供:常総市役所

2009 - 2010年度

会長 田 上 秀 雄

幹事 武 藤 康 之

創立 1963年9月25日

例 会 場 ・ 例 会 日

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30 ~ 13:30 0297-22-1251

事 務 所

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386

釜久ビル 3F

0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitukaido-rc.jp/>

10月は職業奉仕月間・米山月間です

THE WEEKLY REPORT

例会報告 Vol.47 No.13 (No.2215) 10月14日(水)曇り (司会 斎藤広巳委員長)

本例会での主な事項

会長挨拶

会員卓話 米山月間に因んで 青木正弘会員

ピジター

米山奨学生 金 憲周さん

諸 報 告

社会奉仕委員会 (石塚利明委員長)

10月10日(土)常総地区グランドゴルフ大会が開催され無事に終了しました。ご協力有難うございました。



赤い羽根共同募金のご協力有難うございました。

11月3日の文化祭に昨年同様にバザーの協力をしたいと思います。ご協力宜しくお願い致します。

親睦活動委員会 (染谷秀雄委員)

忘年会日程のお知らせ・・・12月12日(土)、詳細につきましては来月お知らせ致します。

ライラセミナー報告 (染谷秀雄地区新世代奉仕委員)



10月は職業奉仕月間・米山月間です THE WEEKLY REPORT



10月9日～11日に開催されました。五木田裕一会員、登坂 寛新世代奉仕委員長、瀬戸隆海会員、古矢満会員の社員2名のご協力を頂きました。ありがとうございました。

幹事報告 武藤康之幹事

週報受理クラブ なし

例会変更通知 なし

選挙の結果、2010 - 2011年度ガバナーノミニーに、古河東ロータリークラブの山崎清司氏に決まりました。

10月は職業奉仕月間・米山月間です

THE WEEKLY REPORT

会長挨拶 田上秀雄会長



皆さん、こんにちは。10月10日(土)グランドゴルフ大会水海道が台風の影響もなく秋晴れの中、無事に開催されました。120名もの参加者の中から男子の部上位3名、女子の部上位3名にカップと賞状の授与が行われました。

さて10月と言えば昔から赤い羽根共同募金が思い出されます。

今や身近な募金ですが、この募金の始まりについてお話しいたします。

共同募金は10月1日～12月31日までの3ヶ月間行われる「一般募金」と12月1日～31日までの1ヶ月間に行われる「地域歳末助け合い」ならびに「NHK歳末たすけあい」に分けられます。

共同募金が初めて行われたのは1913年(大正2年)、アメリカのクリーブランド市でした。日本での共同募金は、終戦後の1947年(昭和22年)に発足した「社会事業共同募金中央委員会」が全国規模で募金運動を展開したことに始まりました。戦災により家を焼かれた人や両親を失った子供たち復員軍人など生活に困っている人々の精神を国民に訴え、全国各地で募金運動が繰り広げられました。なお、第一回の運動では約6億円(現在の1500億円)の寄付が寄せられました。また翌年の第2回目からシンボルとして赤い羽根が登場し今日まで親しまれています。この赤い羽根は勇者のシンボルとして、共同募金発祥の地アメリカで水鳥の羽を赤く染め使用したことから日本でも使われるようになりました。

共同募金が他の募金と異なる点は、民間社会福祉事業のための資金を計画的に一元化し、寄付金を募集、管理、分配し、総合的な調整を図ります。施設や団体から提供された配分申請について、共同募金では申請内容を審査し、独自に設置している配分委員会で配分案を決め、その配分表に基づいてその年の目標額が決まります。このように、共同募金は、使い道について予め計画を立てて行う計画募金なのです。

我がロータリークラブでもたくさんの募金活動がありますが、やはり使い道がはっきりとしたものがほとんどです。今年も募金活動により、意義のある奉仕活動を心がけて参りたいと思います。

会員卓話 米山月間に因んでDVD観賞 青木正弘委員長



(財) ロータリー米山記念奨学会について

外国人留学生を支援する 民間最大の奨学団体です

財団法人ロータリー米山記念奨学会は、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアン(ロータリークラブ会員)の寄

付金を財源として、奨学金を支給し支援する民間の奨学団体です。

ロータリー米山記念奨学会は、将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。優秀とは「(1)学業」に対する熱意や優秀性はもちろんのこと、「(2)異文化理解(3)コミュニケーション能力」への意欲や能力に優れている点が含まれます。

ロータリー米山奨学生は、ロータリークラブを通して日本の文化、習慣などに触れ、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人となることが期待されます。



シンボルマークについて 

10月は職業奉仕月間・米山月間です

THE WEEKLY REPORT

年間の奨学生採用数は800人、事業費は14.3億円(2008年度決算)と、国内では民間最大の奨学事業()となっています。これまでに支援してきた奨学生数は、累計で15,130人(2009年4月現在)。その出身国は、世界116の国と地域に及びます。

出席報告 (福田克比古委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜暇	マーク	出席率
53名	39名	14名	0名	11名	94.34%

ニコニコボックス 瀬戸隆海委員長

入金計 ¥24,000 累計 ¥795,000

グランドゴルフ、お疲れ様でした。 田上・白井 各会員

米山へのご協力ありがとうございます。 青木(正)会員

10月10日、運動会を無事済ませました。皆様インフルエンザに要注意です。 石塚(克)会員
水海道グランドゴルフ大会が無事終了しました。ご協力頂きました会員の皆様、ありがとうございました。
石塚(利)会員

第30回ライラセミナー無事終了しました。 染谷(秀)会員

ライラセミナーお疲れ様でした。 小島会員

10月10日、ライラセミナーに出席して来ました。お世話になりました。 五木田(裕)会員

隅屋さんに褒められました。 福田会員

その他 横山・瀬戸 各会員

例会欠席しました。 福谷・染谷(正)・北村(英) 各会員

会報委員会

染谷正美委員長

秋田政夫副委員長

上野 博委員

国際ロータリーとゲイツ財団が協力でポリオ撲滅に2億ドルを投入



国際ロータリーは、今日、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団と協同して、世界ポリオ撲滅に必要とされる2億米ドルを投入することを発表しました。アフリカ、アジア、中東各地の子どもたちはいまだにポリオによる身体麻痺に苦しみ、世界中の子どもたちがこの病の脅威にさらされています。

ゲイツ財団から1億ドルの補助金を受領したロータリー財団は、今後3年間にこれと同額の資金を調達するための募金活動を行っていくこととなります。ロータリーは、世界ポリオ撲滅推進計画(GPEI)における予防接種活動を直接支援するために、今後1年以内に、最初の1億ドルを投入していく予定です。世界ポリオ撲滅推進計画とは、世界保健機関(WHO)、国際ロー

タリー、米国疾病予防管理センター(CDC)、ユニセフが協同して主導する活動です。

「ポリオ撲滅があと一歩というところまで前進できた背景には、ロータリー会員の並々ならぬ尽力があり、これが極めて重要な役割を果たしました」と、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団の共同会長であるビル・ゲイツ氏は述べます。「ポリオの撲滅は、公共保健の分野において歴史上最も重要な偉業となるでしょう。この目標を果たすために、私たちは全力を投入しています」

今回のポリオ撲滅への補助金は、ゲイツ財団が今までに提供した補助金のチャンレジ(訳注:資金を提供する条件として、相手側からもそれと同額または一定額の寄付を求める補助金)の中で最大のものであり、また、創設以来102年の歴史においてロータリーが受領した最も高額な補助金でもあります。1985

10月は職業奉仕月間・米山月間です

THE WEEKLY REPORT

年以來、ポリオの撲滅はロータリーの最優先項目とされてきました。それ以来、ロータリーはこの撲滅活動に6億3,300万ドルを寄付してきました。

「世界中のロータリーの会員たちは、ここまで来るために懸命に活動してきました。ですから、私たちの今までの活動が、このような特別な形でビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団から認められたことは、大きな報いです」と言うのは、ロータリーのポリオ撲滅活動を主導し、ロータリー財団の管理委員長を務めるロバート・スコット博士です。「ロータリーとゲイツ財団のこの協同での取り組みが、ほかの財団や各国政府、非政府組織をはじめとするほかの寄付者に対しても、ポリオの撲滅に必要な資源を確保するために立ち上がるよう、奮起を促すものとなることを願っています」

今回のゲイツ財団からの補助金がもたらされたのは、撲滅目標実現のための資金投入が緊急に必要とされる重要な岐路となる時期のことでした。世界ポリオ撲滅推進計画は、過去20年間にポリオの感染者数を99%も減らすという大きな成功を収めたものの、野生型ポリオウィルスは、現在もアフガニスタン、インド、ナイジェリア、パキスタンの4カ国に根強く残っています。残る最後の1%に表されるポリオの感染は、地理的な孤立や撲滅活動員の疲弊、ワクチン接種の不徹底、武装紛争、文化的障壁といった要因のために、予防に最もコストがかかると考えられています。

先月、WHOは、残る4カ国のポリオ常在国が撲滅に向けて着実に進展していることを確認するデータを発表しました。特に、合わせて世界のポリオ症例の85%を占めるインドとナイジェリアでは、顕著な進展が見られました。ナイジェリアでは今年、210人の感染者が報告されましたが、これは昨年同時期の921人と比べると大きく減少しています。これら両国においては、より有効性の高い経口ポリオワクチンがポリオ感染者の着実な減少に貢献しています。

今回のゲイツ財団の補助金は、ポリオ撲滅が現実的であり、実現可能であることを裏付けるものである、とWHO事務局長のマーガレット・チャン博士は述べます。「今回の資金投入は、ポリオに最後のとどめを刺すための集中活動を行う上で私たちが必要とする、まさに起爆剤だと言えます」とチャン博士。「撲滅の道具は揃っています。あとは、財政的な支援者の方々がこのチャンレジのために立ち上がってくれるなら、ポリオのない世界は必ず実現します」

最初の1億ドルの大半は、ポリオ感染国での大規模な予防接種活動、ポリオウィルスの監視活動、地域社会での教育と広報活動の支援に充てられます。この補助金はまた、ポリオウィルス拡大阻止のための研究支援にも充てられる予定です。ロータリーはこの資金を、WHOとユニセフへの補助金を通じて支給します。

「ゲイツ財団補助金によって可能となったこうした資金は、予防接種を最も必要とする孤立した地域の子どもたちへの経口ポリオワクチンの投与など、世界ポリオ撲滅推進計画の活動をさらに拡大していく上で役立ちます」と、アン・M・ベネマン ユニセフ事務局長は言います。「この重要な支援によって、身体の麻痺を招く病から子どもたちを守る力が、一層強まるでしょう」

ロータリーとゲイツ財団の協力は、主要な公共保健推進活動における民間部門の重要性を再確認するものである、とジュリー・ガバーディン米国疾病予防管理センター(CDC)所長は述べます。「政府団体として、私たちは、民間組織がポリオ撲滅のような重要な活動において主導的役割を担うことはとても素晴らしいと思います。こうした民間組織からの協力を欠かすことはできません」

1905年にシカゴで創立されたロータリーは、人道的奉仕を提供し、世界における親善と平和の確立に寄与する、事業と専門職務に携わるリーダーが世界的に結束する団体です。ロータリーの会員は世界に約120万人おり、これらの会員は200以上の国と地域に存在する32,000以上のロータリークラブが所属しています。